

赤須賀漁師の伝言板

夏の「土用の丑」といえば？

夏と言えは何といっても土用の丑ですね。
丑の日といえば、まずはウナギを思い浮かべる方が多いと思いますが、忘れてはいけないのが「土用しじみ」です。

「土用しじみは腹ぐすり」と言われ、昔から夏のバテた身体に良いとされてきました。最近では「オルニチン」が注目されていますが、昔の人も経験上しじみの効果をしていたのかもしれないですね。

赤須賀で水揚げされるしじみは、木曾三川と伊勢湾が会う豊かな漁場で育まれた、栄養たっぷりの漁師自慢のしじみです。

7月が旬の身の詰まった赤須賀のしじみを、土用の丑の日に食べれば、美味しいいうえに夏バテ防止につながることも間違いなしです。



赤須賀産しじみ



毎日シジミを食べている漁師は夏でも元気！